

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上明美

いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

冬將軍はもうそこまでやってきていますが、皆様お変わりありませんでしょうか？

テニスやフィギュアスケート等、世界で活躍されて

いる日本人の様子をテレビで拝見していて、勇気と元気をいただいている今日この頃です。

以前、誰かがおっしゃっていた「今、目の前のことを誠心誠意対応できない人間には、将来がない」という言葉を、ふと思い出しました。この言葉、弊社に置き換えて、襟を正している次第でございます。寒さに向かうこの季節、お身体に気をつけてお過ごし下さいませ。

サンライズの物語

介護を通じて「家族の大切さ」を改めて痛感したお話

お子様を出産されてすぐに、「関節リウマチ」にかかってしまった、ある女性利用者様のお話です。

本来、すぐに治療しなければならぬ病気ですが、子育ての忙しさにかまけてしまい、治療を放棄した結果重篤になってしまった方でした。

その後、お子様も独立され、夫婦二人暮らしをされていた時に、ついにリウマチの症状が悪化してしまっただけです。

最悪なことに、それまでに服用していた薬の副作用により、頸椎が融解し呼吸困難になってしまい、救急搬送、即緊急手術となりました。

頸椎をワイヤーで止めるという手術で、頭部にリングをはめて固定するというもので、大の男でも根を上げるという辛い治療にも耐え、在宅へ戻られた方でした。

そんな折に、今度は旦那様がガンを罹患され・・・ご本人様もまた体調を崩され、偶然にも同じ病棟に入院されることになったのですが、旦那様のガンが相当の末期状態。衰弱するのはあつという間でした。

そしてある日、旦那様が奥様（ご本人）の名前を呼び続け、ついに最期を迎えたとのこと。

私がおその利用者様の援助中にお聞きした、後日談。一番無念だったのは、「夫が自分を呼んでいるのに、何もしてあげられなかったこと」だと。

その無念さを、利用者様は声を振り絞るように話されていて、私は援助中にも関わらず涙が溢れて止まりませんでした。

その後、娘さんのご自宅で介護を受けていましたが、「ご主人を大切にしてください」と口癖のように私に話して下さり、いつも前向きで、勇気と優しさを心に届けて下さった方でした。

ご利用者様の辛く悲しい気持ちを解消することはできないかもしれません。

しかし、せめてその想いに添うことはできます。そのことをいつも心に秘めて、介護職として接していきたいと思っております。

幸せを呼ぶ

おむつの話

[第三回]

排泄ケアについて、 真剣に考えるイベント

排泄ケア相談処 諒 代表 田中 明子

去る10月13日、猛烈な台風が近づく中、松戸市の「森のホール」にて排泄ケアセミナー「Happy Nappy Life」というイベントを開催しました。

主催の「チームはぴなぴ」という団体は、病院の看護師と在宅の介護職6名で結成したチームです。Nappyとはイギリス英語で「おむつ」のことです。互いの知らない分野を教えあひながら、おむつに特有の「暗い」「汚い」というイメージを変えたい、おむつ（Nappy）を使うことになってもHappyに！という思いで活動しています。

初回は4年前に「おむつのファッションショー」と題し、おむつにはたくさんの種類があることを紹介し、2回目は「Happy Nappy Selection」と題し、おむつ選びをテーマにしました。そして今回は「Life～あなたのその手は誰をHappyにしますか～」をキーワードに開催しました。

看護や介護の仕事をしている方は、新人の時も中堅時代も、ベテランになってもそれぞれが抱える思いがあるものです。そんな中で、おむつを利用している患者さんや利用者さんの「生活」に焦点を当てました。介

護職の方の参加も大変多く、関心の高さが伺えました。私たちは、参加者に対して、こんな投げかけをしました。「あなたがしている排泄ケアで利用者さんはHappyでしょうか?」「あなたは自身が介護を受けることになった時、今あなたがしている排泄ケアを受けたいですか?」と。「受けたい」と答えた方は、極々少数でした。いわく、自分が受けたいケアと、しているケアには、途轍もない差があるということです。どうしたら、その差は埋まるのでしょうか。

おむつ交換を、ただ機械的に繰返すのではなく、利用者さんの立場になって自分だったらどうだろうかと考えていくことが必要なのだと思います。おむつもケア技術も進歩しています。

新しい情報を知り、様々な状態の利用者さん各々に最適な方法を提供していけるよう積み重ねていくことが、「自分自身が受けたい」と思えるケアに近づくのではないかと考えます。但し、独りよがりや押しつけにならないよう気をつけなければなりません。

それを防ぐのは、他職種による連携であり情報の交換・情報の共有になるのだと思います。

今月の名言

あきらめたら
そこで試合終了
ですよ



安西監督(湘北バスケ部)

人気マンガ「スラムダンク」第27巻に出てきます。ある試合で残り時間 11分41秒、22点差で負けている状況での、安西先生の名言です。ものごとを、簡単にあきらめたくはないですね。

スタッフ紹介

訪問介護事業所 サービス提供責任者 **高橋 都**

<自己紹介>

サンライズ開設からお世話になっております。

笑顔・明るさをモットーに、更年期障害と紫外線(笑)と闘いながら、毎日飛び回っております。利用者様の「ありがとう」の一言が、パワーの源です。

これからも、体力が続く限り頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(代表・井上より)

弊社のムードメーカーで、ご飯を食べてもすぐにお腹が鳴ります。「サンライズのギャル曽根」と呼んでおります(笑)。人との調和がとても上手で、彼女がいるだけで職場が明るくなります。もちろん仕事もしっかりこなします!最早なくてはならない、貴重な存在です。



<プロフィール>

平成22年7月入社

出身地:福島県

血液型:O型

資格:介護福祉士

お読みいただきありがとうございました。

サンライズ・メイト・バートへのお問い合わせは TEL.03-5697-9895